

## 帯広市のこれまでの総合計画の概要

内容	帯広市総合計画	帯広市新総合計画	第二期帯広市総合計画	新帯広市総合計画	第四期帯広市総合計画	第五期帯広市総合計画	第六期帯広市総合計画
計画期間	昭和34年度～昭和43年度	昭和38年度～昭和45年度	昭和46年度～昭和55年度	昭和54年度～昭和63年度	平成元年～平成12年度	平成12年度～平成21年度	平成22年度～平成31年度
策定の理由・背景	○総合的かつ科学的な計画行政 ・川西村・大正村との合併（昭和32年） ・国・道の計画との関連 新長期経済計画（昭和33年） 第2次5か年実施計画（昭和33年） ・道東・十勝経済圏における計画的発展体制の確立	○社会経済情勢の変化や国・道の計画策定状況等を踏まえ、見直し ・国民所得倍増計画（昭和36年） ・全国総合開発計画（昭和37年） ・第二期北海道総合開発計画（昭和38年）	○帯広市新総合計画の終了	○第二期帯広市総合計画の見直し（社会経済情勢の変化、国・道計画の改訂等に対応するため、2年前倒し） ・第三次全国総合開発計画（昭和52年） ・新北海道総合開発計画（昭和53年） ・北海道発展計画（昭和53年）	○新帯広市総合計画の終了	○第四期帯広市総合計画の見直し（社会経済情勢の変化などに対応するため、1年前倒し）	○第五期帯広市総合計画の終了
都市像	近代的田園都市	地域の特色をいかした、緑濃く、活動力のある生産の場であり、安らかな憩いの場であるとともに、より近代的な産業の発達する都市 －近代的田園都市－	人間尊重を基調とした「近代的田園都市」	豊かな自然と北方の文化に根ざした活力あふれる十勝の中核都市 －開拓100年の歴史をふまえて心ふれあいのあるまち－	緑ひろがる北のフロンティア都市おびひろ	人と自然が共生する可能性の大地 新世紀を拓く田園都市おびひろ －緑ひろがる北のフロンティア－	人と環境にやさしい 活力ある田園都市 おびひろ
目標人口（想定人口） 〔基準年人口〕	153,330人 〔昭和32年 99,521人〕	143,350人 〔昭和35年 100,915人〕	200,000人 〔昭和45年 131,568人〕	200,000人 〔昭和50年 141,774人〕	186,000人 〔昭和60年 162,932人〕	188,000人 〔平成7年 171,715人〕	概ね17万人 〔平成17年 170,580人〕
基本構想 （まちづくりの目標）	・産業振興の基盤の整備 ・産業の振興 ・文化厚生対策および施設の整備	・十勝地域農林業の近代化 ・地域産業近代化を促進する工業の積極的開発振興 ・帯広市影響圏の拡大と地域経済圏の連携強化 ・中小企業の安定と向上 ・輸送通信体系の確立とその施設の整備 ・都市施設機能の強化 ・文教、サービス施設の整備 ・生活環境の向上	・健康で明るい安全都市の建設 ・北海道内陸中枢拠点都市の建設 ・創造性ゆたかな北方文化都市の建設	・豊かな生活を築く活力ある産業都市の建設 ・市民が誇りと連帯意識をもって創造する北方文化都市の建設 ・自然と調和し、健康で安心して暮らせる快適都市の建設	・活力ある産業都市 ・心ゆたかな生きがい都市 ・緑あふれる快適都市	・安心安全都市 ・産業複合都市 ・環境共生都市 ・生涯学習都市 ・広域連携都市 ・市民自治と自治体経営	・安全に暮らせるまち ・健康でやすらぐまち ・活力あふれるまち ・自然と共生するまち ・快適で住みよいまち ・生涯にわたる学びのまち ・思いやりとふれあいのまち ・自立と協働のまち